

天願ほけんだより

9月号
R5. 9. 1

まだまだ暑さの続く沖縄！これから数年ぶりにお祭りシーズン到来です。いろいろなお祭りに参加、観覧することでお友だちとのコミュニケーションや地域への愛着心が芽生えてくると思います。しかし、一方で就寝時間が遅くなり園児たちの生活リズムが乱れやすい時期でもあります。規則正しい生活リズムは、大人にとっても大切です。大人がイキイキと健康に過ごしている姿や笑顔あふれる姿は、子どもたちのお手本になります。また、子どもが規則正しい生活習慣を身につけると、お父さんやお母さんが心のゆとりを持つことができ、楽しい子育てにもつながると思います。

9月1日は防災の日！9月9日は救急の日！

最近、自然災害による被害のニュースが多く聞かれます。台風や地震などの“もしも”のときに備え、非常用品をそろえておきましょう。そして、いざという時にすぐに取り出せるよう、決まった場所に保管しましょう。また、水や食料品、医薬品などは期限切れがないか、携帯ラジオ・懐中電灯などの電池は使えるか、など定期的に中身をチェックしておくで安心ですね。

備えあれば憂いなし！

こども医療でんわ相談

#8000



とびひの増える季節です

とびひは、夏の疲れが出る8月の終わりから9月ごろに多くなります。虫刺されの跡や傷に、菌が付いて発症することが多いようです。「傷がじゅくじゅくしている」「なかなか傷が治らない」というのがとびひの始まりのサイン。やがてかゆみの強い水ぼうがができます。これをかきこわした手でほかの所をかくと、そこにもとびひが広がります。

家庭での手当て

- じゅくじゅくした部分はガーゼで覆う。皮膚科で処方された薬があれば塗ってから、ガーゼで覆う
- お風呂では湯船につからず、シャワーで洗い流して清潔を保つ
- 温上りりはこすらずふき取り、薬を塗る



主な症状

- 皮膚に小指のつめくらの水ぼうがができる
- 水ぶくれや、赤くじゅくじゅくした、ただれた状態になる
- 強いかゆみがある

患部が乾燥すれば、うつる心配はありません。じゅくじゅくしていたら、ガーゼで覆いましょう



子どもたちの様子

暑さに負けることなく元気いっぱい夏の遊びを満喫している子どもたち！コロナやインフルエンザなど様々な感染症が発生している中、各家庭で体調管理に十分配慮していただいているおかげで体調を崩すことなく元気に過ごすことができました。ありがとうございました。近年は季節に関わらず様々な感染症が発生していますが、乳幼児期の子どもたちが集う場で感染を予防することは極めて困難な状況です。生活リズムを整えてまだまだ続く沖縄の暑さに負けない体作りを心がけましょう！